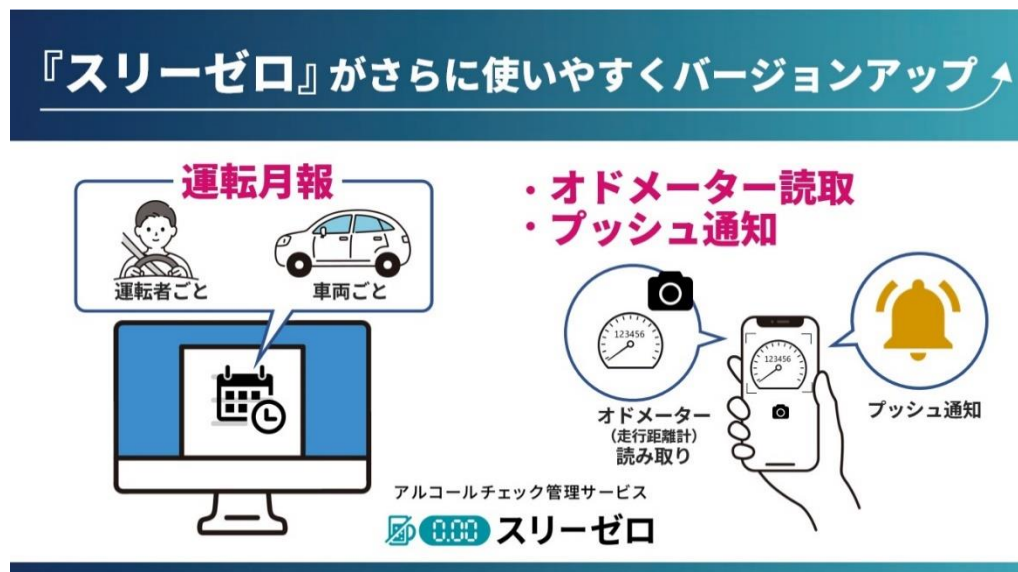


オドメーター^{※1}のOCR読み取り対応^{※2}やプッシュ通知機能も追加

AIoTクラウドのアルコールチェック管理サービス『スリーゼロ』が、新たに月報作成機能^{※3}の追加などアップデート



シャープの子会社である株式会社AIoTクラウド（本社：東京都江東区、代表取締役社長：松本 融）は、明日2月13日からアルコールチェック管理サービス『スリーゼロ』の機能をアップデートします。

今回、アルコール検知器対応数No.1^{※4}の『スリーゼロ』の運転日誌機能に、多くのお客様よりご要望があった月報作成機能を追加し、簡単に月報を作成することが可能となりました。また、運転日誌の記録に不可欠な走行距離の記録を、OCR読み取り機能の活用で実現。スマホのカメラでオドメーターの数値を読み取ることで、運転日誌に自動入力できるようになりました。さらに、運転者用アプリがスマホのプッシュ通知にも対応。運転者へメッセージ通知が可能になりました。

当社はこれからもお客様の課題やご要望に合わせて、『スリーゼロ』の機能拡充や他業務ツールとの連携など、アルコールチェック管理業務の効率化やお客様の負担軽減に貢献するとともに、飲酒運転撲滅に向けて支援してまいります。

■主なアップデート内容

1. 運転日誌機能に、新たに月報作成機能を追加
2. OCR読み取り機能がオドメーターにも対応。走行距離の数値をスマホのカメラで読み取り、運転日誌へ自動入力
3. 運転者用アプリがスマホのプッシュ通知に対応し、運転者へメッセージを通知

※1 （積算）走行距離計。その車両が完成してから現在までの累計走行距離を表示する計器のことです。

※2 オドメーター読み取り機能は「プレミアムプラン」が対象です。

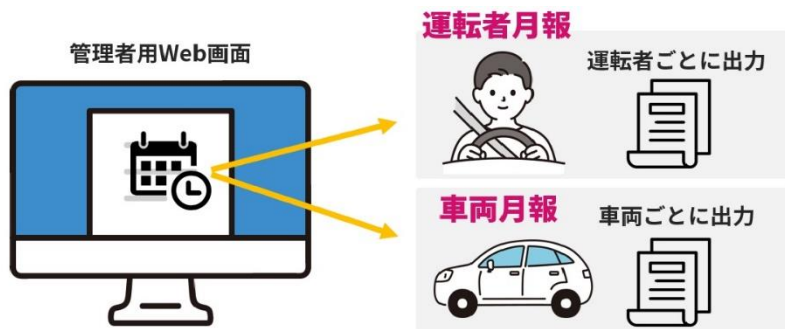
※3 月報作成機能は「レギュラープラン」「プレミアムプラン」が対象です。

※4 対応機種 71社130機種（2025年2月12日現在）当社独自調べ。

■主なアップデート内容

1. 運転日誌機能に、新たに月報作成機能を追加

運転日誌機能に、日々の運転日誌のデータを自動で集計し、月報を作成する月報作成機能を追加しました。管理者用Web画面から運転者ごとに出力可能な「運転者月報」と車両ごとに出力可能な「車両月報」の2種類に対応し、Excel®形式で出力が可能です。これまで管理者が行っていた日誌の集計・照合作業など、月報作成にかかっていた業務負担や管理コストを軽減します。



2. OCR読み取り機能がオドメーターにも対応。走行距離の数値をスマホのカメラで読み取り、運転日誌へ自動入力

アルコール検知器の読み取りに使用しているOCR読み取り機能が、車両のオドメーター読み取りにも対応しました。運転日誌入力画面からスマホカメラでオドメーターを撮影すると、数値を認識し走行距離の値を運転日誌へ自動入力します。これにより、運転者の入力ミス防止や入力の手間を軽減します。また、あらかじめ撮影しておいたオドメーターの写真の運転日誌作成時にアップロードすることで、写真から数値を認識し反映することも可能です。



3. 運転者用アプリがスマホのプッシュ通知に対応し、運転者へメッセージを通知

運転者用アプリがプッシュ通知に対応しました。指定の時間に全運転者に通知する「一斉通知」と、条件に合致した運転者のみに通知する「個別通知※5」の2種類に対応。「一斉通知」はメッセージの内容を任意に設定可能です。たとえば、アルコールチェックの実施を促すメッセージを運転者へ直接通知することにより、実施漏れ防止に貢献します。



※5 個別通知は「プレミアムプラン」が対象です。

■プランごとの機能一覧表

		シンプル	レギュラー	プレミアム
サービス利用料		300円/月 (3,600円/年)	500円/月 (6,000円/年)	900円/月 (10,800円/年)
主な機能	アルコールチェック測定記録	●	●	●
	AI顔認証	●	●	●
	運転日誌の作成		●	●
	車両予約			●
	免許証読み取り		●	●
	ダッシュボード			●
新機能	月報の作成	・ 運転者ごと、車両ごとの両方の月報が作成可能 ・ Excel®形式で出力	●	●
	オドメーターのOCR読み取り	・ 走行距離を読み取り、運転日誌へ反映 ・ あらかじめ撮影した写真からの読み取りにも対応		●
	運転者への通知	・ 全運転者に対し指定時間に通知「一斉通知」	●	●
		・ 条件に合致した運転者に対し指定時間に通知「個別通知」		●

* 太枠内が新機能（今回のアップデート内容）です。 * 価格は参考価格（税別）です。

■アルコールチェック管理サービス『スリーゼロ』の概要

市販のアルコール検知器で運転者の酒気帯びの有無をチェックし、スマホアプリ経由で検査結果をクラウドに送信・保管できるサービスです。運転者が出張や直行直帰により外出先での検査であっても、遠隔からリアルタイムに管理することができます。130機種以上のアルコール検知器に対応しているため、導入中のアルコール検知器とは別の機種しか購入できない場合や、複数の機種別のアルコール検知器を導入している場合でもすぐにご利用いただけるサービスです。

なお、今回アップデートした内容は、シャープマーケティングジャパン（株）が法人向けに開催する総合提案会「シャープビジネスフォーラム 2025」でもご覧いただけます。

参加ご希望の方は、下記URLより事前登録をお願いいたします。

<大阪会場： 2月18日（火）・19日（水） 公益財団法人大阪産業局 マイドームおおさか>
https://jp.sharp/business/event/ebo/?ss_ad_code=aiot

<東京会場： 2月26日（水）・27日（木） 東京都立産業貿易センター 浜松町館>
https://jp.sharp/business/event/ebo/?ss_ad_code=aiot

- Excelは米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- スリーゼロは、株式会社AloTクラウドの商標または登録商標です。

■本リリースに関するお問い合わせ

報道関係者様： シャープ株式会社 広報部
 東京 (050) 5357-5959 / 大阪 (050) 5213-6795

お客様：alc_marketing@aiotcloud.co.jp

株式会社AloTクラウドに関する情報は、以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.aiotcloud.co.jp/>

『スリーゼロ』に関する情報は、以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://alc.aiotcloud.co.jp/>